

令和4年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	新緑会
議員名	早坂 博 羽立 秀光
調査実施年月日	令和4年11月17日(木)
調査先 自治体名等	日本生産性本部 地方議会勉強会
調査項目	「住民自治の根幹」としての議会について
調査目的	議会からの政策サイクルを学ぶ
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 研修講演会(全国町村議会会館 2階会議室)</p> <p>2 視察内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会からの政策サイクルを学ぶ</li> </ul>
感想(まとめ) 本市へ生かせること等	<p>議会からの政策サイクルの目的</p> <p>1 見える化の推進 2 議決責任の行使と説明責任 3 地方政治の負の連鎖から正の連鎖へ 4 選挙につなげる 5 主権者教育・市民教育につながる</p> <p>① 住民との意見交換会による住民の意見集約(広聴)を出発点として、議会からの政策サイクルを発動させること。つまり、前の期の議会からの申し送りをし、住民の意見を参考にして議会として通任期を意識して取り組む課題・調査研究事項を抽出する。</p> <p>② 一方では、それを踏まえて行政評価を行うこと。住民の意見を踏まえて行政評価項目を選択し行政評価を議会独自で行う。それが行われるがゆえに決算審議が充実する。さらに、その決算審議を予算要望につなげることもできる。</p> <p>③ 他方では、住民の意見を踏まえて、政策課題を抽出し調査研究を行うこと。必要があれば、専門的知見を活用することも重要。</p> <p>④ これらの2つの流れを束ねる総合計画を策定。常に総合計画を意識して行政評価を行うことで政策課題がより豊かになる。また、議会は総合計画を所与のものではなく、変更可能なものとして考えることも必要。</p> <p><b>【感想】</b></p> <p>市民との意見交換会から施策の要望や意見を聞き、議員間討議を重ねて政策型の議員提案条例や首長への政策提言など、住民福祉向上に寄与する政策に結びつけることが大事であり、そのサイクルを回すには、議員間討議の充実、議会の話し合いの質を上げることが不可欠であると感じました。</p>

